

2 広安西小学校の概要

- (1) 広安西小学校は、広安小学校の分離校として、広崎・福富・古閑・小峯の4地区をもって、平成7年4月1日に発足した。
- (2) 本校校区は、熊本市と隣接し、南北に細長く広がっている。熊本市長嶺町と隣接した小峯地区と、広崎・福富・古閑の住宅地の間は畠地帯になっていて、小峯地区だけが他の地区と離れている。学校はその間の畠の中に位置し、学校の北側には熊本産業展示場(グランメッセ熊本)、第2空港線、西側には九州自動車道が走っている。
- (3) 児童の通学路は、狭い旧道が多く、交通量も多い。特に、第2空港線、九州自動車道の側道及び県道熊本・高森線は交通量が多く、通学路との交差点は横断するのに危険性が高い。
そのため、危険性の高い交差点及び横断歩道5ヵ所においてPTAや校区老人会とも連携しながら安全指導を実施している。また毎日の登下校時の交通事故防止にも努めている。
- (4) 熊本市に隣接し、ベッドタウンとして新興住宅地が増えた。人口が増加し、転入児童も多い。
児童数の推移(予定)を見ると、令和3年度以降の児童数はやや減少していく傾向にある。
また、本校北側には、熊本産業展示場(グランメッセ熊本)が隣接し、校区西側には、九州自動車道インターチェンジがある。それに伴い広い道路(通称:グランメッセ線)も整備され、平成28年4月開通した。
- (5) 本校区の面積は、約3.49Km²であり、地区は広崎1町内～5町内(平成27年3月末に広崎4町内が、広崎4町内と5町内に分かれる。)、古閑、福富、小峯に分かれている。

校区の未就学児童数(令和3年5月末調べ)は次の通りである。

年齢	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳
人数	112人	116人	99人	126人	111人	124人

- (6) 本校にはスクールバスがあり、第2空港線をはさんで小峯地区の児童が毎日登下校の際に利用している。学年別のスクールバス利用児童数は(令和3年4月末調べ)は次の通りである。

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
人数	19人	20人	15人	17人	18人	21人	110人

(7) 環 境

- ア 児童育成クラブ「ひまわり」「たんぽぽ」「すずらん」がある。
- イ 校区に、児童養護施設「広安愛児園」(在籍児童16名)がある。(令和3年4月末現在)
- ウ 広安愛児園内に「こどもL. E. C. センター」を併設。(在籍児童9名)

(令和3年4月末現在)

広安愛児園

何らかの事情で親と一緒に暮らすことのできなくなった子どもたちや環境上適切な養護を必要とする子どもたちを預かり、毎日の生活を家庭に代わって送る児童養護施設。
現在、小学生16名が入所しており、広安愛児園から広安西小学校に通っている。
朝6時に起床し、7時までには朝食をとり、登校している。午後6時に夕食をとる等、基本的な日課を目安としながら、過ごしている。就寝は午後9時である。

こども L. E. C. センター

先天的・後天的な身体の障害や、知的な発達遅滞から起因するのではなく、家庭内の人間関係や地域内、学校での対人関係により発生した出来事が原因で、日々の生活で様々なストレス症状を起こし、社会適応が困難になっている児童を対象とした児童心理治療施設。

児童支援については、情緒的な問題や虐待によって深い心の傷を持つ児童などに対して、個々の児童の状態と治療目標に合わせて、「生活」、「教育」、「治療」の三つの分野が連携を取って、施設内で行っている全ての活動が治療であるという「総合環境療法」の立場に立って治療を行っている。

こどもL. E. C. センターから9名の児童が分教室で学び、広安西小学校に通学している。